

(リハビリテーション医学講座・第1巻)

リハビリテーション医学概論

岩 倉 博 光 著

帝京大学医学部リハビリテーション部

東京都心身障害者福祉センター

今 村 哲 夫

本邦における教科書として、リハビリテーション医学の対象となる疾患をこれほど明確にしている書は前に例をみないと思われる。「主に概括」と前おきしながらも、その対象を運動障害にしばってゆく著者の思慮がうかがわれる。この明確化が、リハビリテーション医学の技法と考えられる多岐にわたる接近法について、次章に述べられている評価法と、さらにアプローチ手段に関する章において、豊富に記述されている事柄についての導入となっている。

評価の章では、多種のまた多くの分野にわたる評価法をわかりやすく紹介している。それは心理学的評価におよび、従前はそれ程触れられてはいなかったけれども、リハビリテ

ーションに重要な意味をもつと考えられる適応能力の評価にまで及ぶのである。アプローチの章においても、多角的な接近法について手を抜かずで紹介しているのは読者にとって大変親切である。

概論でありながら、全章にわたるきわめて記述内容が具体的であって、情報量が多く、その出典・文献が多数あげられているのもこの書の特長であろう。これ等の記述の中から著者の意図が、リハビリテーション医学の普遍的概念を、読む人にじかに伝えようとするところにあるのがよく感じられる。

著者は日本のリハビリテーション医学の確立のために情熱的努力を惜しまなかった中心的人物の中の一人

であることは、周知の事実であるが、重ねていえるように、この書が通常の叢書の概念的概論とことなり、すぐれて具体的な内容が系統的に整理されているところに、医学徒以外のリハビリテーション関係者にも魅力をひかれる理由があると思う。

本書は五味重春先生の編集のもとに、日本にあるべきリハビリテーション医学を標榜する教科書の第一巻である。

最後に、内容の豊富さに比して、価格が手頃なことをお伝えしたいと思います。

(A 5 版, 242頁, 1981, ¥3,800,
医歯薬出版社 発行)